

1 概況

知多西部の一部と西三河地区では冷蔵網1~2回目の摘採をしています。その他の地区では秋芽網3~4回目の摘採をしています。栄養塩は、知多西部地区と西三河地区では増加傾向にありますが、知多東部地区では先週からさらに減少しています。植物プランクトンは知多東部地区と、西三河地区では増加している漁場もみられます。なお、1月12日に水産試験場が発表した赤潮予報では、渥美湾で確認された赤潮は次第に縮小すると予想されています。

気象庁の予報によると、今後2週間は平年より気温が低くなることが多いと予想されています。あかぐされ病は小康状態の地区が多いですが、病勢の拡大を予防し、現在漁場に張ってある網の寿命を延ばすため、十分な干出をかけるとともに、伸ばしすぎず早期摘採を心がけましょう。

2 気象・海況

<水温> 1月13日

1~3号 ブイ平均 (-3.5m)	日平均水温	7.9 °C
	平年差	+0.1 °C

<水温> 1月14日

漁生研 (-3.0m)	10時水温	8.9 °C
	平年差	-1.3 °C

<潮位偏差> 1月13日

名古屋港	5日平均*	+3 cm
	偏差	-3 cm

※1月9~13日までの平均

<栄養塩・赤潮> (各のり研究会調査)

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西部地区	多い	なし	植物プランクトンは少ない
知多東部地区	少ない	なし	植物プランクトンはやや多い~散見
西三河地区	やや多い	なし	植物プランクトンはやや多い~少ない
東三河地区	本年度の調査終了		

※基準(単位: $\mu\text{g/L}$) 多い:121~、やや多い:81~120、やや少ない:41~80、少ない:~40

<気温動向の予測> (気象庁予報より)

今後1週間	最高気温と最低気温はともに、平年並か平年より低いですが、期間の中頃は平年より高い所もあるでしょう。降水量は、平年並か平年より多い見込みです。
-------	--

3 クロノリ養殖状況

地区	摘採回数	1網当たりの生産枚数	製品	食害	病・障害 その他
知多西部地区	冷蔵:1回 秋芽:3~4回	冷蔵:300~700枚 秋芽:400~900枚	概ね良好	カモ>>魚	秋芽であかぐされ 海況良好
知多東部地区	秋芽:3~4回	800~1,000枚	色調低下傾向	魚散見程度 一部でカモ	あかぐされ終息傾向 海況は濁りあり
西三河地区	冷蔵:1~2回	150~500枚	概ね良好	カモ>>魚	あかぐされは小康状態 一部の海域でやや濁り
東三河地区	秋芽:3~4回	1,000枚	色調低下傾向	なし	青混ぜ主体に生産 海況は濁りあり

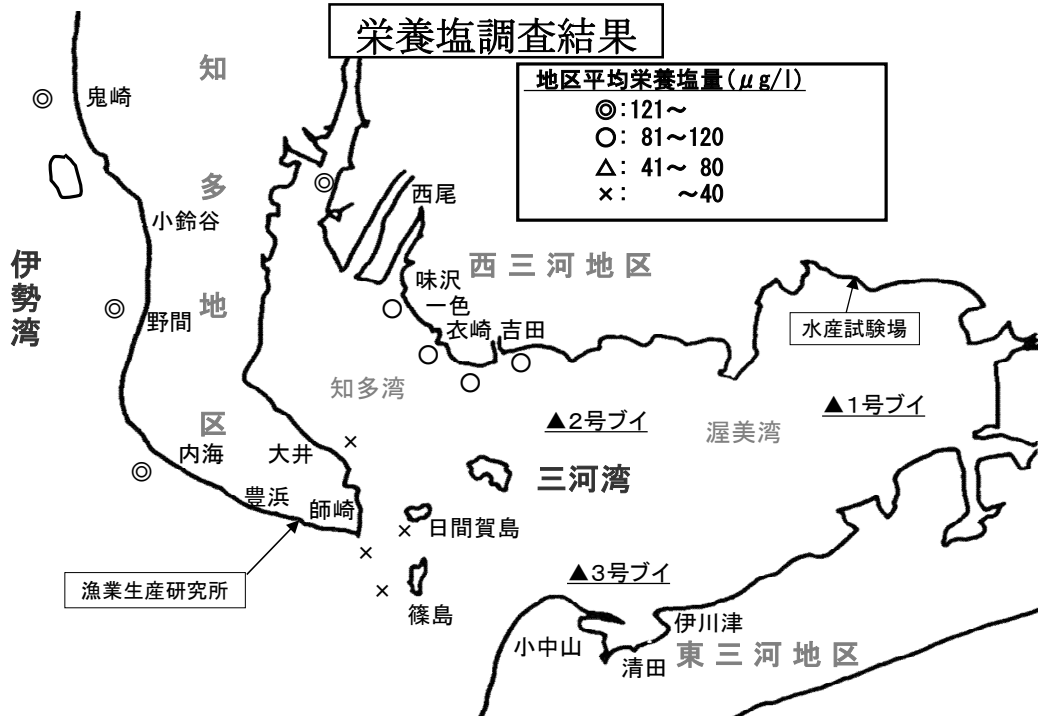
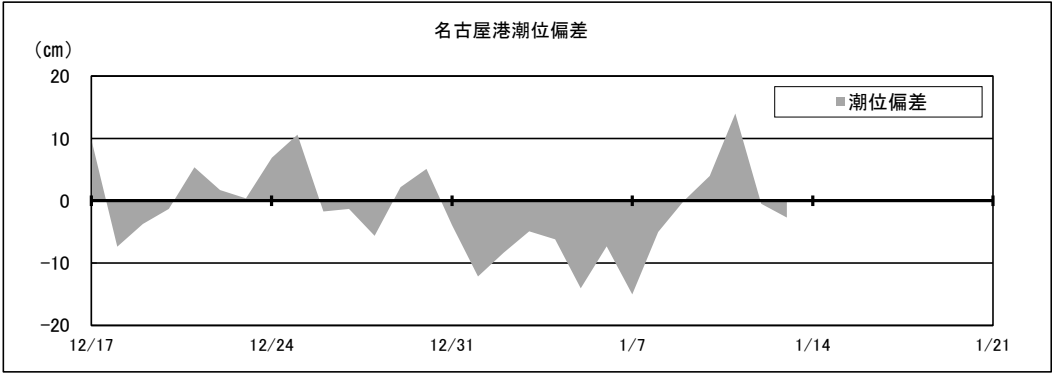
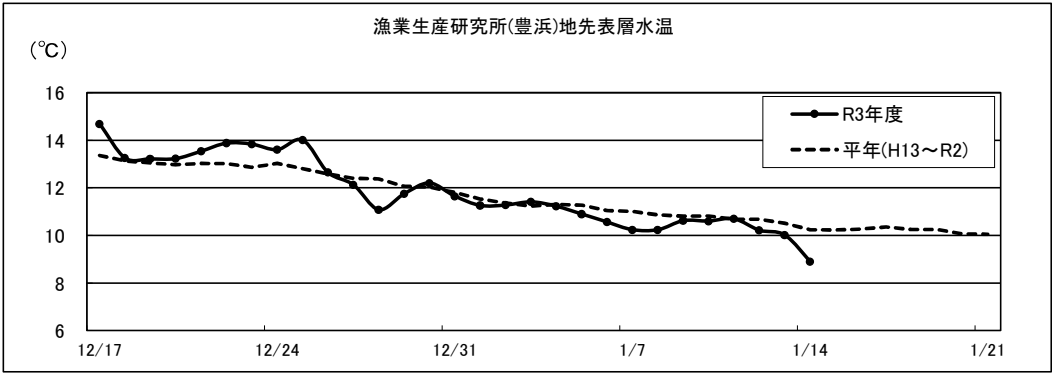
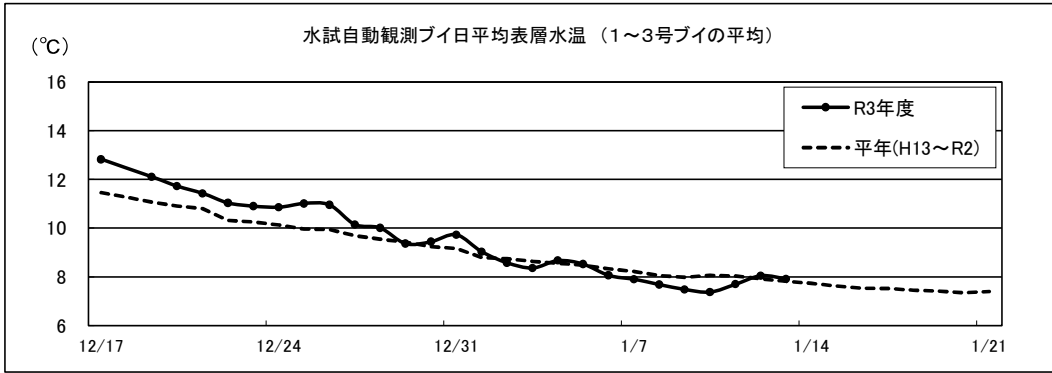
4 今後の管理

- ① あかぐされ病及び色落ち予防のため、適正な干出と早期摘採を心がけ、製品の向上に努めること。
- ② 食害が発生している漁場では、防除網等の対策に努めること。
- ③ 製品の選別及び異物の検査を厳正に行うとともに、衛生管理に努めること。

水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測ブイ情報」は、インターネット上で閲覧することが出来ます。
水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。アドレス: <https://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ
次回は1月21日(金)発行予定です。

伊勢湾・三河湾海況データ



栄養塩調査日: 知多、西三河: 1月13日 (木)
 調査機関: 知多のり研究会、西三のり研究会